

事業所名

児童発達支援センターふれも・しすい

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

8日

法人（事業所）理念		こどもの健やかな育ちを支えるために、保育士や言語聴覚士、作業療法士、児童指導員等の専門職を配置しその専門性を発揮し、子ども一人ひとりに合わせたオーダーメイドのプログラムを立案・実施する。また、子育て支援としてペアレントトレーニングを行う。ご家庭での日々の暮らしや保育園・幼稚園での生活の困り感や不安をお聞きし一緒に検討し困り感の軽減及び解消を行う。								
支援方針		親子参加型で一人ひとりに合わせたオーダーメイドの療育を行い「できた」を積み重ね成功体験を結び付けていく療育を行う。								
営業時間		平日	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	送迎なし
		土・祝	8時	30分		17時	30分			
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作（食事、着替え、排泄等）の評価と支援をする。 ・身の周りを清潔にするなど健康維持・改善の支援を行う。 ・健康的な生活リズムの京成を手助けする。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・バランス・協調性を取り入れた活動を通し、姿勢・身のこなしの能力を高める。 ・様々な感覚を取り入れた遊びを通して、感覚・運動面の発達を促す。 ・粗大運動、手指の微細運動を取り入れた活動をしていく。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや制作活動を通して、考えたり様々な経験をしながら考える力を養う。 ・小集団での活動を通して、考えや行動を調整する力を養う。 ・色や形、文字、数字、概念等の興味関心が持てるように遊びの中で養う。 ・見通しが持てるように、スケジュール提示をする。 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション（ことば、カード、ジェスチャー等）の中から子どもにあったものを考え、自分の要求を相手に伝える実感を育てる。 ・経験や考えを話すことで、相手にわかってもらえた体験を通して相手のやりとりや会話の楽しさを感じられるよう支援していく。 ・ごい量を増やし、構文力や統語力を育て言語の理解力を育てる。 ・個別や小集団での会話のやり取りの体験を通して、言語を使った表現力を育てる。 ・子どもが安心できる声掛けややりとりを、母子遊びを通して行うことで心の育ちを養う。 ・吃音や発音など、なめらかに明瞭に会話ができるよう支援する。 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者やスタッフや友達と一緒に遊ぶ遊びや活動を通して、他者とかかわりの経験を積む。 ・ルールのある遊びを通してルールに従いながら自分自身を発揮できるように他者やルールへの自己調整力を養う。 ・母子遊びを通して子どもが安心できる声掛けややりとりを行うことで心の育ちを養う。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育及び保護者の小集団でのペアレントトレーニング ・家族からの相談や悩みに対する助言 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や学校などへの情報共有 ・移行支援会議やカンファレンスへの参加 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・関係する児童発達支援事業所、相談支援事業所、放課後デイと情報を共有し、密な連携を図る。 ・自立支援協議会や通所支援連絡会、地域勉強会への参加 ・保育所・幼稚園を訪問し集団での様子を観察し担任と対応方法及び今後の方向を共有する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修 ・法定研修（コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染予防・BCP、人権） ・ケース検討会 於：1～2回/週 ・外部講師によるABA研修・OT研修（講義・事例検討）於：1～2回/月 			

主な行事等

- ・「クリスマス会」などの季節に合わせたイベント
- ・保護者会、保護者勉強会、外部講師による講演会
- ・小集団でのペアレントトレーニングやピアサポート